

## 2022 年度渡航向け夏季短期海外研修 募集要項（共通）

※海外インターンシップを除く

### 1 趣旨

夏季休業期間中、留学先大学が提供する英語の学習プログラム等の受講を通じ、英語・及び外国語の学修レベルに合った知識を身につけます。また、異なる文化や環境のもとでの生活を通じ、豊かな国際感覚を身に着けます。

### 2 応募要件

- ・学部及び研究科、学年の別なく応募可能とし、留学先の大学で教育を受けるのに十分な適性を持つ者。※医学科生は、必修科目（福祉施設実習）とスケジュールが重なるため参加対象外となります。
- ・留学先国の水際対策の最新状況を常に確認し、後期開始までに必ず帰国し、授業を受けられるようにすること。

※それ以外の詳細については、各留学先の応募要件を参照すること。なお、PE 取得以上について、1 年次で応募する場合は入学時の PE 合格かつ TOEFL-ITP500 点以上を要件とします。

○要件に満たない場合は、プラクティカル・イングリッシュセンターの渡航前レポート課題提出等の渡航前事前学修課題を提出及することを条件に渡航を可とします。

○課題等については、応募者が確定後、該当する方にグローバル推進室より別途連絡します。

※また、それ以外のスコアについては、募集締切日までに取得することが望ましいですが、スコアの提出日は、「14 事前研修及びオリエンテーション等について」に記載の第 1 回オリエンテーションの日時とします。

※それまでに必要なスコアが取得できなかった場合、本プログラムはキャンセルすること。また、キャンセルにより発生する費用については自己負担です。

※渡航にあたっては、新型コロナウイルスワクチンの接種が必須となります。

### 3 期間・費用・留学先大学

各留学先大学の要件を参照すること。

### 4 併願について

#### (1) 本プログラム、交換留学及びセメスター留学等との併願

本プログラム内の併願は認めません。また、交換留学、セメスター留学などによる渡航が既に決定している場合は、原則併願できません。

#### (2) 海外インターンシップとの併願について

渡航日も含め、日程の重複がない場合は併願可能とします。ただし、ビザ等の取得にかなりの時間を要することなどを十分に検討の上、申し込むこと。申し込み後に本プログラムに参加できなくなった場合はキャンセル料を自己負担すること。

### 5 海外旅行保険について

海外旅行保険等については、危機管理上、以下 2 つの保険に加入していただきます。

#### (1) 学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」、金額は 3,300 円（4 年間分の場合の目安））

(2) 大学が指定する海外旅行保険（金額は 11,230 円（1 か月分目安（税込）, 詳細は 5 月頃）

## 6 補講期間との兼ね合いについて

本プログラムは、YCU の補講期間と一部重複します。担当教員に大学主催の海外夏季短期研修に参加する予定であること、および出発時期が補講期間に重なる予定であることを伝え相談した上で、応募してください。（詳細は、総合履修ガイド P.31 を確認してください。）なお、前期後半のクォーター科目は補講期間にも通常授業が行われますので、その履修者は出席時期が補講期間に重なる大学主催の海外夏季語学研修には応募できません。

## 7 追試について

追試の候補日が 8 月 18 日（木）及び 8 月 19 日（金）に設定されています。複数のプログラムにて渡航期間が追試日と重複しますが、特段の配慮はありません。

## 8 補助金等について

予算の範囲内で、下記の条件を満たす学生に対し、大学による補助金と、後援会による助成金（後援会加入者のみ）が支給される可能性があります。（ただし、後援会からの経済的支援は保護者が後援会に加入している場合のみ、また下記の金額は補助金と後援会助成金の合算になります。）

### 【欧州・米国・カナダ】

(1) 独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金

もしくは給付型の奨学金を取得している学生：12 万円

(2) 独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金を取得している学生：6 万円

### 【重要】

補助金の支給は、以下要件を満たすことを条件とします。

ア オリエンテーションや危機管理セミナーなど、大学が指定する研修・セミナーに参加すること

イ 渡航前・渡航後の大学が指定する提出書類を遅滞なく提出すること

ウ 海外留学プログラム関係の広報など、本学の広報に積極的に協力すること

なお、上記金額は経済的支援の上限です。予算については今後決定されること、また、経済的支援の対象者数により、上記金額から減額した支給額となる可能性があることを留意してください。

## 9 単位認定について

単位認定については現在調整中ですが、下記を予定しています。

詳細は決定次第別途参加申し込みをいただいた方まで通知いたします。

共通教養科目 短期海外研修（1 単位）

（後期履修登録期間に他の科目と一緒に Web 登録すること）が認められる場合があります。

10 申し込み方法：申込フォーム (<https://forms.office.com/r/zYDne4uFxG>) から申請

※原則、申し込み後にグローバル推進室より申し込み確認の連絡はしません。申し込み後の手続き詳細は、オリエンテーションでお知らせします。また、申し込みの有無に関する照会も受け付けません。

## 11 締め切り

HP 参照

## 12 選考

原則なし。応募状況により、提出書類、成績等をもとにして選考が行われる可能性があります。

## 13 パスポートとビザについて

- ・本プログラムに申し込む学生はパスポートを可能な限り早急に取得してください。
- ・パスポートがない場合、パスポート申請を行い、申請時に受け取った引換証のコピーを提出してください。
- ・ビザ申請や入国の際に、パスポートに十分な有効期限が求められることがあります。(例：アメリカ合衆国入国の場合、少なくとも90日間の有効期限が必要)。パスポートの有効期限が1年未満となる場合、新しいパスポートへ切り替えてください。
- ・渡航先によってはビザが必要となる場合があります。ビザについてはオリエンテーションで説明しますが、ビザは原則、自分で取得してください(大学からのサポートはありません)。
- ・なお、取得が不安な場合、民間の代行取得サービスを利用することも可能です。

## 14 事前研修及びオリエンテーション等について

今後、オリエンテーション日程を調整の上ご連絡します。

渡航前当該オリエンテーションは**参加必須**です。

## 15 帰国後の報告書提出 及び広報活動への参加について

帰国後は、報告書の提出及び報告会の企画、次期派遣学生向けの説明会、オリエンテーション等へ参加するとともに、大学プログラム経験者として広報活動に協力すること。

## 16 注意事項

本プログラムの留学決定後、もしくは渡航後でも現地治安や衛生状況の悪化その他特別の事情により、渡航もしくは滞在に問題が生ずるとグローバル推進室が判断する場合、渡航の延期、中止や現地からの退避を指示する場合があります。

この場合、速やかにグローバル推進室からの指示に従ってください。

特に新型コロナウイルス感染症の拡大や東欧情勢等により、今後渡航できるかは現状不透明であること、またその際のキャンセル費用等は自己負担となりますことをご了承のうえ、お申し込みください。

さらに、渡航にあたっては新型コロナワクチン接種が2回以上必須です(渡航先国で有効なワクチン接種証明書が必要です)。